



変わった形をしたレンガの塀

### 屋外広告物の掲示ルールを守ろう

「屋外広告物ツアー」では、案内役(藤原)が業務を担当していた屋外広告物について「R守山駅周辺にある実物を見ながら」「建物の壁面を利用して表示されているのが壁面広告物で、都市計画法の用途地域によって表示できる面積や高さに制限があつて」と種類や表示基準を説明しました。また、電柱や街路灯にはり紙等を違法に取り付けられている違反広告物を地域の方々に取り除くことができる「違反広告物除却



せっせとウロコとり、初参加の中村さん(左)

## 環人会ツアーvol.3 「守山ツアー」

第3回環人会現場勉強会「守山ツアー」は、午前「屋外広告物ツアー」、午後「ふなずしツアー」の2本立てで開催しました。

■6月21日(土)

■案内役:「屋外広告物ツアー」 藤原直樹  
「ふなずしツアー」 嶋田奈穂子



JR守山駅前のベンチで屋外広告物の説明

推進制度)の内容を説明しました案内役は本制度の制定に関わりました。本制度を利用して現在県内で3つの自治会、団体が地域の美化や防犯安全のために活動されています。説明後は周辺を散策しました。古い佇まいの町家や変わった形をしたレンガの塀、ホテルのオアシエなど、わずかな距離を歩いただけでしたが、守山の魅力をあちこちで見つけることができました。

### 琵琶湖は生活の場

「ふなずしツアー」では、まず、守山漁港で漁師戸田直弘さんに琵琶湖や漁について話を聞きました。「時期と場所が違えば、昔は対岸の堅田に届くほどの大きな魚があつた」「なれずしを食べる文化は滋賀県を長く愛し続けてくれた証」琵琶湖が生活の場である戸田さんの話を聞いて、私は琵琶湖の表面的なことをほんのわずかに知っているだけなんだということを感じました。「フラックバス、ブルギルの話は1週間かかると」冗談めかしておっしゃられていましたが、



守山漁港で戸田さんの話を伺う



違反広告物除却推進員のユニフォーム



この日はワタカが大漁だった



まずはウロコを取ります



男前の漁師戸田直弘さん



黙々と作業



お腹に卵が詰っています



塩漬の準備ができたニロブナとワタカ



戸田さんがつくってくれた鮎の給煮。とてもおいしかった



桶いっぱい敷き詰めました



桶を囲んで



塩をお腹に詰め込んでいきます

外来魚対策の大変さが滲み出ているように感じた。

■五日ふなずしに挑戦!

次は戸田さんの指導のもと、ふなずしの塩漬を実践しました。魚は当朝早朝から案内役(嶋田)が漁に出て獲ってきました。この日獲れたのはニロブナ、ギンナ、ワタカ、カマツカ、オイカワ、ハス、ウグイ。まずはえらを落とし、ウロコを取り、ニロブナとギンナは頭を残してえら、のどぼけ、目玉、お腹や浮き袋を取り除き(小剥き)、水で洗いました。その他の魚は作業のしやすいように頭を落とした。次にお腹のあいだスペースに塩をしっかりと詰め込みます。そして桶に魚と塩を交互に敷き詰めていきます。参加者のほとんどがふなずしを漬けたことがありませんでしたが、思い思いに作業を楽しんでできました。年末には自分たちで漬けた魚を食へられるようにになります。



魚の種類を覚えていただいた